


授業記録

授業者の発問等	子どもの反応・活動
<p>○今まで手紙の書き方を学習してきました。みんなは1番より2番の手紙の方が気持ちがよく伝わると答えていましたね。どうして2番の方がお礼の気持ちがよく伝わるのですか。</p> <p>○どうして詳しく書いているほうがいいのか。</p> <p>○ありがとう以外にもお礼の気持ちが伝わる言葉がありましたね。どんな言葉がありましたか。</p> <p>○お礼の気持ちを伝えるために色々な活動をしてきましたね。誰に手紙を書くのですか。</p> <p>○手紙はどうして書くのですか。</p> <p>○以前に下書きを書きましたね。今日は友達に読んでもらって気持ちがよく伝わるかを見てもらいましょう。</p> <p>○友達の下書きがタブレットに送られてきていますね。友達の下書きを声に出して読みましょう。</p> <p>○友達の下書きでお礼の気持ちが伝わる場所に線を引きましょう。</p> <p>○線を引いたところを発表してくれる人はいますか。</p>  <p>○線を引いたところを友達に教えてあげましょう。教えてくれたところに印をつけておいてもいいですよ。今、線を増やしてもいいですよ。後でもう一度聞きますね。</p> <p>○線を引いたところを伝えてくれる人はいますか。</p>	<p><これまでの学習の流れを掲示物を見て確認する。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文が多くて感謝の気持ちがよく伝わるから。 ・詳しく書いているから。 ・相手に気持ちがよく伝わるから。 ・あいさつ。 ・相手に気持ちを伝えるため。 ・お世話になりました。 ・感謝。 ・とても楽しかった。 ・県庁の人。 ・警察本部の人。 ・遠足でお世話になった人。 ・お世話になった人にお礼の気持ちを伝えるため。 <p><タブレットに書いた下書きを出して班になる。></p> <p><友達の下書きを音読する。></p> <p><タブレット上でお礼の気持ちが伝わる場所に線を引く。></p> <p><画面を共有する。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教えていただき、ありがとうございました。お礼の言葉が載っているから。 ・仕事について教えてくれてありがとうございました。なぜならもらった人が嬉しいと思うから。 <p><グループになり、伝え合う。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お礼の言葉が書けているから。 ・礼儀正しい文だから。 ・～覚えていすのところです。きちんと覚えていることを文にしているから。



○お礼の気持ちをもっと伝えるにはどうしたらいいですか。他に方法がありますか。例えば…

○確認はできていますか。誤字脱字はないですか。丁寧な言葉遣いになっていますか。レベルアップポイントを見てみましょう。詳しく書けていますか。

○自分と友達の間がもっとお礼の気持ちが伝わる文にレベルアップしていきます。お礼の気持ちが伝わる文に変身させましょう。付け加えてもいいですよ。

○完成した人は写真を撮って提出ボックスに入れてください。

○変わったところを紹介してくれる人はいますか。

○色々で終わるのではなく、言葉を入れるとよく伝わりますね。お礼の手紙を見直したり友達の手紙のいいところを真似したりするとよくなりますね。他にも順番を変えるのもいいですね。

○では書き直したので、このままメールで送るといいですか。

手書きで下書きを書いている子もいました。どちらがお礼の気持ちがよく伝わりますか。

○次はどの方法でお礼の気持ちを伝えるとよいのかを考えていきましょう。

- ・丁寧に説明してく～ところに引きました。詳しく書いてもらった人が嬉しいから。
- ・仕事について詳しく教えてく～ところに引きました。きれいな言葉を使っているから。
- ・この間はお世話に～に引きました。相手にお礼の気持ちが伝わるから。
- ・シャンデリアが美しい～のところに引きました。素敵だったという気持ちが伝わるから。

<手紙を書くときのポイントを確認する。>



<班でポイントを確認し、ワークシートに書き直したり書き加えたりする。>

<直した下書きを撮り、提出ボックスに入れる。>

- ・「 」をつけました。
- ・県警察本部に言葉をそろえました。
- ・何回も書いているところを消しました。
- ・〇〇さんが…のところを友達に、相手の名前にさんをつけました。
- ・分かったことを詳しく書き直しました。
- ・家で話したことを加えて書きました。
- ・色々な…では分からないから詳しく書きました。

・もっと書き直した方がいい。

・手書き。

